

「認知行動カウンセリングに活かす動機づけ面接法」

(公開研修会・総会基調講演)

認知行動カウンセリングとは、人間の認知、行動、情動、生理にかかわる問題の解決をめざす援助方法の総称であり、動機づけ面接法とは、変化への動機づけをクライアントの中から引き出し、強めるためのコミュニケーションの方法です。両者とも、さまざまな行動変容問題の解決に有効であることが確認されています。今回は、認知行動カウンセリングに動機づけ面接法をいかに活かすかについて、簡単な実習を交えながら、基礎から解説いたします。

多くの方々のご参加をお待ちいたします。お誘いあわせの上、ぜひご参加下さい。

【日時】2017年2月18日(土) 13:30~16:00

【会場】明治薬科大学 剛堂会館ビル

(有楽町線 麹町駅 1番出口 徒歩4分 ほか)

千代田区紀尾井町3-27 ☎03-3234-7362

【講師】沢宮 容子先生(筑波大学人間系教授)

【参加費】学会東京支部会会員 無料、非会員1,000円

【プログラム】

13:30~15:30 公開研修会(総会基調講演)

「認知行動カウンセリングに活かす
動機づけ面接法」(どなたでも参加できます)

(10分間休憩)

15:40~16:00 第6回総会(支部会会員のみ)



【主催・申込み】日本カウンセリング学会 東京支部会 (Eメール) jacs_tokyo@hotmail.co.jp

⇒ 件名に「2月18日・第15回公開研修会に参加希望」と記した上で、

氏名/所属/支部会会員・非会員の別/を記入し、Eメールでお申し込み下さい。(当日参加も可)

..... | 講師・沢宮 容子 先生: 紹介 |

立正大学心理学部臨床心理学科教授を経て、筑波大学人間系教授。日本カウンセリング学会事務局長。博士(心理学)、日本カウンセリング学会認定スーパーバイザー、臨床心理士、REBTインストラクター。『認知行動療法の理論と臨床』ぎょうせい、2010(共著)、『カウンセリング実践ハンドブック』丸善、2011(編著)、『楽観的帰属様式の臨床心理学的研究』風間書房、2012(単著)、『認知行動療法事典』日本評論社、2010(監訳)、『臨床実践を導く認知行動療法の10の理論—「ベックの認知療法」から「ACT」・「マインドフルネス」まで』星和書店、2012(共訳)、ビジュアル臨床心理学入門 第17巻『認知行動療法』サン・エデュケーショナル、丸善、2005(DVD)など。

第6回総会案内

日時: 2017年2月18日(土) 15時45分~

場所: 明治薬科大学 剛堂会館ビル

* 東京支部会会員の方は総会への参加をお願いいたします *

日本カウンセリング学会 会員の皆様へ 《東京支部会 会員募集のお知らせ》

日本カウンセリング学会 東京支部会では、会員を募集しています。公開研修会の開催や、メールリストによる大会・研修会に関する意見交換、ボランティアなどの情報発信などを行う予定です。ぜひ、私たちの活動に参加し、カウンセラーとしての実践を有意義なものにしていきませんか。(会員の皆様はお知り合いをご紹介願います)

東京支部会参加希望者は、①下記の口座に入会金1,000円をお振込み(氏名・連絡先を明記)の上、②東京支部会のEメールまでご連絡ください。後日、必要な連絡を差し上げます。

ゆうちょ銀行口座番号: 00180-7-338443

加入者名: 日本カウンセリング学会東京支部

~ ※ 申込手続後に連絡の無い方は、下記(東京支部会)Eメールに再度ご連絡ください ~

申込先・他連絡先(東京支部会) jacs_tokyo@hotmail.co.jp